

RADIOLOGICAL SAITAMA

2012

別冊 No.6



vol.60

埼玉放射線

最新CT特集

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

<http://www.sart.jp>

E-mail sart@beige.ocn.ne.jp

RADIOLOGICAL SAITAMA

2012/11
NOVEMBER
VOL.60

別冊

CONTENTS

お知らせ

平成25年『新春の集い』のご案内 ————— 1

本会の動き

リレー・フォー・ライフ川越2012(がん患者支援チャリティーイベント)に参加して ————— 2

各支部掲示板

第一支部 ————— 5
第二支部 ————— 8
第三支部 ————— 16
第四支部 ————— 18
第五支部 ————— 20
第六支部 ————— 21

会員の動向

会員の動向(平成24年9月25日現在) ————— 22

議事録

平成24年度 第1回常務理事会議事録(抄) ————— 23
平成24年度 第4回理事会議事録(抄) ————— 25

役員名簿

平成24・25年度役員名簿 ————— 28

正会員入会申込書 ————— 30
退会届 ————— 32
求人コーナー ————— 34

平成25年『新春の集い』のご案内

埼玉県診療放射線技師会新春の集い実行委員会

平素は、技師会事業にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

一年のスタートと皆さまのさらなるご活躍を祈念するとともに、関係各位の意見交換の場として、下記の通り賀詞交換会を催したいと思っております。ご多忙中とは存じますが、平成25年『新春の集い』にぜひご出席くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお昨年は、本会創立60周年記念式典挙行的ため新春の集いが開催されず、昨年度入会会員の方々に例年の特典がございませんでしたので、今回、平成23年4月以降に入会された会員の皆さまを無料とさせていただきます。

記

日時：平成25年1月11日（金） 19：00開宴（受付18：30から）

会場：大宮サンパレス GLANZ「ストーリー」(大宮駅東口 徒歩3分)

参加費：正会員 6,000円（ただし、優待券をお持ちの方は5,000円でご参加いただけます）

*優待券は公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の理事にお声掛けいただくか、本会ホームページより印刷しご持参ください。

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会ホームページURL <http://www.sart.jp/>

新入会員 無料（平成23年4月以降に入会された会員に限ります）

賛助会員 10,000円

参加費は当日受付でお支払いください。

問い合わせ：実行委員長 芦葉 弘志 丸山記念総合病院 h-ashiba@sart.jp

総務担当 田中 宏 埼玉県立小児医療センター h-tanaka@sart.jp

会場案内



大宮サンパレス GLANZ

〒330-0845

さいたま市大宮区仲町1-123

TEL 048-642-1122

リレー・フォー・ライフ川越2012 (がん患者支援チャリティーイベント)に参加して

公益委員会 星野 弘

2012年9月15日(土)・16日(日)の両日、緑にかこまれた川越水上公園芝生広場にてリレー・フォー・ライフ川越2012が開催されました。このイベントがこの地で開催されるのは今年で4回目、本会としては昨年続き2回目の参加となります。

リレー・フォー・ライフは、がん患者であるサバイバーさんやその家族・遺族・支援者のケアギバーさんと、24時間共に歩き、語らうことで生きる勇気と希望を生み出し、がんという病気に立ち向かっていく、そのような思いを込めているチャリティーイベントです。

このイベントは、1985年にアメリカ・ワシントン州のシアトル郊外で、アメリカ対がん協会のゴールドイー・クラット医師が始めたイベントです。マラソンが得意な彼が、大学の陸上競技場を24時間走り続ける中、友人たちは30分間だけ医師と一緒に回るとに25ドルずつ寄付をしました。その結果、1日で27,000ドルが集まり、対がん協会に寄付をすることができました。翌年からは医師、がん患者さんやその家族、友人が数人ずつのチームを組むリレー形式となり、24時間歩き続ける中で、参加者の間にがん闘う連帯感が生まれたのです。単なる資金集めのイベントとしてではなく、地域社会全体でがん闘うための絆を育む場としてリレー・フォー・ライフは大きく広がり、現在では全米5000カ所以上、世界20カ国以上で行われるようになりました。日本でも、2006年9月に茨城県つくば市で第一歩を踏み出し、現在では全国30カ所を超す地域で開催しています。

川越のリレー・フォー・ライフは、“ひとりじゃない”をテーマに掲げ、一人で苦しんでいる方でも気楽に立ち寄れる「場」となることを目標に、どこにも気持ちを打ち明けられずにつらい思いを抱えている方が、安心して語ることでできるイベントを作ろうと発足したそうです。参加団体は30を超え、約2000人の方が共に歩きました。医療従事者やがん経験者、遺族の方や、学生さんなど、少しでもがんに関心を持っている人たちが集まり様々なチャリティー活動を行い、その思いを共有しました。

本会も、51名という多くの会員の皆さまに参加ご協力をいただき、24時間共に歩き、チャリティー活動を行いました。

本会の活動内容としては、東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)被災写真の展示やパネルを使用しての医療画像展・放射線被ばく相談、乳がん検診説明会(講師:埼玉医科大学総合医療センター中央放射線部 石田 直之氏)、CTコロノグラフィ説明会(講師:埼玉医科大学総合医療センター中央放射線部 清水 隆広氏)などを行いました。またかき氷を配ったり、子供向けの水ヨーヨーつりなども行い、42,667円を日本対がん協会に寄付しました。この寄付金は、若手医師の奨学金、がん検診受診率向上の手助けなどや、今年も昨年に引き続き、被災地がん患者さんへの支援にも使われます。

初日は、途中でにわか雨も降りましたが晴天に恵まれ、また、ルミナリエ(がんで亡くなられた故人に思いをはせ、紙袋にメッセージをしたためます)に書かれている言葉にも勇気付けられ、私たちは昼夜交代で24時間襷(たすき)をつなぎ、感動のラストウォークを迎えました。

今年も、少しでも役に立てればという思いで参加しましたが、逆にサバイバーの方々と触れ合う時を共

有することで、“よしあきらめない”“よしがんばろう”という勇気とあたたかみをもらいました。本会は来年以降も、この思いを胸に少しでもイベントの手助けになるよう、微力ではありますが、貢献していきたいと考えます。

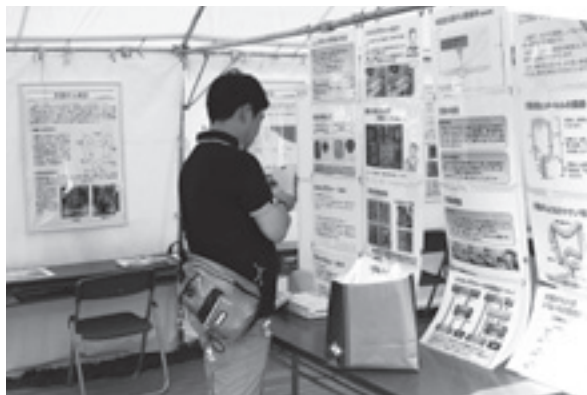
最後に、お忙しい中このイベントの趣旨に賛同し、ご協力をいただいた会員の皆さまに、紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。



（“さあ！頑張って24時間歩くぞお〜”）



（“おいしいかき氷は如何ですかあ〜”）



（よしっ！準備は万全っ！）



（会場）



（会場）



（エンプティータブル：がんで亡くなられた方を悼むセレモニー）



(腹へったあ～)



(疲れたあ～、ちょっと休憩)



(夜も元気に頑張ります!)



(早朝もさわやか笑顔で歩くよ!)



(会場)



(皆さま、お疲れ様でした! イェ～イ)

第一支部

支 部 情 報

今後の予定

1. 第3回 地区勉強会

日 時：平成24年12月13日（木）19：00～

場 所：コムナーレ浦和9階（浦和パルコ）15集会室

参加費：500円

内 容：Ⅰ. 「放射線科での診療報酬改訂の解釈」

第一三共株式会社 手塚一明

Ⅱ. 「楽しくなる胃X線撮影」

済生会川口総合病院 池田圭介

Ⅲ. 「冠動脈MRA検査の実際」

三愛病院 大塚忠義

2. 地区忘年会

日 時：平成24年12月13日（木）21：00～

場 所：未定（浦和駅近辺）

支 部 報 告

報告事項

1. 第2回 地区勉強会

日 時：平成24年8月29日（水） 19：00～

場 所：済生会川口総合病院 3階 第1会議室

参加費：500円

参加者：49人

プログラム：司会 さいたま市立病院 双木邦博

I 最新CTテクノロジー

シーメンスジャパン

II 最新CTの臨床画像

～Definition Flash128列×2管球～

済生会川口総合病院 富田博信

III 最新CT装置見学会



2. 第1回 地区合同勉強会 ～Collaboration Summit 2012～
日 時：平成24年9月9日（日）13：30～17：00
場 所：大宮法科大学院大学 2階講堂
参加者：123人

3. 第2回 地区役員会
日 時：平成24年9月14日（金）19：00～
場 所：埼玉社会保険病院
出 席：10人
内 容：ア) 第3回地区勉強会について
イ) 忘年会について
ウ) 浦和区健康まつりにについて
4. 「浦和区健康まつり」事前打ち合わせ
日 時：平成24年10月4日（木）14：00～16：00
場 所：コムナーレ浦和10階（浦和パルコ）13集会室
5. 「浦和区健康まつり」
日 時：平成24年11月3日（土）10：00～16：00
場 所：浦和コミュニティセンター（浦和駅東口コムナーレ10階）
参加事業：「無料の超音波式骨密度測定、放射線検査の啓発・説明」

第二支部

第二支部 第3回勉強会開催報告～第2報～

開催日時：平成24年6月21日（木）18：30～20：30

開催場所：所沢市保健センター2F

参加人数：79名

内容

- ・ 東芝メディカルシステムズ製品紹介

「ADCTの撮影技術と最新情報」

東芝メディカルシステムズ（株）関東支社 CT担当 森山 和樹

- ・ 一般研究発表

1) shoulder coilに付属するsim deviceの有用性について

石心会狭山病院 小谷野 裕也

2) SYNAPSE整形外科計測ソフトウェア OP-Aについて

富士フイルムメディカル株式会社 MS販売促進部 宮野 武晴

3) AIDR 3Dの特徴と特性

東芝メディカルシステムズ（株）首都圏支社 CTアプリケーション 壺井 美香

- ・ 特別講演「乳腺関連の総合画像診断」

イーストメディカルクリニック 石栗 一男

上記内容にて第3回勉強会が開催された。

前回発行の会誌に掲載できなかった座長集約を掲載させていただきます。

1. 石心会狭山病院 上野 浩輝

『ADCTの撮影技術と最新情報』

東芝メディカルシステムズ(株) 関東支社 CT担当 森山 和樹

患者に苦痛や負担を与えることなく、患部や臓器の状態を正確に診断するX線CT装置。的確な診断や治療のため、もはや医療現場になくはならない画像診断装置となっている。今までは、より薄い断層画像を得る事で、いっそう精細な画像をもたらし、検出器を多数備えることにより、広範囲を撮影するように開発が進められた。

今回は、東芝メディカルシステムズ(株) 森山氏に、AquilionONEについて発表していただいた。

当院にも、AquilionONEが2011年6月より導入され、約1年間稼働したが、導入前は考えもつかないような検査も可能になり、様々な恩恵を受けている。最新情報として同社の壺井氏から『AIDR 3D』について発表を予定していたので、今回は撮影技術について紹介していただいた。

AquilionONEの最大の特徴は、320列の面検出器を搭載している事。これにより、1回転0.35秒で16cmの範囲を撮影する事が可能となる。64列X線CT装置では、寝台を移動させながらヘリカルスキャンを行っているため、同じ臓器において時相差が生じている。しかし、この装置は1回転で心臓や脳など臓器全体を撮影可能なため、心臓のような動く臓器でも時相がズレることなく撮影が可能である。

面検出器を備えることは、患者にとってもメリットである。心臓を1回転0.35秒で撮影出来るため、息止めも短時間で済む。また短時間での撮影が可能ということは、造影剤をより減量できる。さらにヘリカルスキャンによる撮影ではなく、X線管球を1回転での撮影のため、被ばく量も64列X線CT装置の約1/4であり、患者の身体的負担を軽減する事が可能となった。

私の施設では少ない症例だが、乳幼児などを対象とした、小児領域における検査も非常に有用である。

患者にとって最善な検査とは何なのか？短時間、低被ばく、造影剤の減量、そして現在は新たな再構成方法(逐次近似再構成法)の開発による被ばく軽減。私は、この装置を使用して1年になるが、あらためて素晴らしいX線CT装置だと感じる。

この装置は可能性をまだまだ秘めている。私達ユーザーの研究や、メーカーの開発を通してさらなる可能性を臨床の現場で役立てていきたいと感じる。

『SYNAPSE整形外科計測ソフトウェアOP-Aについて』

富士フィルムメディカル(株) MS販売促進部 高嶋 隼人

電子カルテが日本全国で普及し、病院経営の効率化やクリティカルパスの整備、地域医療連携など様々な恩恵を受けている。

画像診断領域でも電子化が進み、フィルムレス時代となった。しかし、フィルムレス時代になっても関わらず、整形外科領域における計測だけは、フィルムを出力し計測している施設も多い。その理由としては、計測精度の問題や計測業務が複雑であるなどの問題点があった。

今回は富士フィルムメディカル株式会社高嶋氏より、SYNAPSE整形外科計測ソフトウェアについて発表していただいた。下記にこの機能と特徴について示す。

従来、フィルム上で定規や分度器を当てて行っていた計測を、ワークステーション上で行うことになる。ワークステーション上での計測する時の問題点として、簡便であるか否かという点だ。動画による解

説も行っていましたが、非常に簡便で直感的に計測を行うことができ、中点抽出や垂線機能も備えているため、正確で簡便な計測が可能と感じる。

また計測に慣れていない整形外科医や診療放射線技師が、正確な計測を行うことができるように『計測手順ガイドモード』という機能も搭載されている。

計測画面上に、シェーマとガイドメッセージが表示され、それに従い計測ポイントを選択するだけで、必要とされる計測が可能である。Cobb角、FTA、Sharp角など代表的な計測が事前に登録されているため、導入後すぐに運用が可能である。また計測法は導入後でも登録が可能のため、施設独自の計測法や医師間の差が生じても問題とならない。

モニタ上に人工関節テンプレートの表示が可能となったため、術前のプランニングが容易となった。搭載されている全てのテンプレートは、富士フィルムと人工骨メーカーで契約を結んだものになるため、信憑性が非常に高い。表示するテンプレートは、従来と同様の110%表示なので、フィルムでのテンプレティングと同じサイズ感覚で実施が可能である。この計測結果は、SYNAPSEサーバーに保存する事ができ、画像データは院内のあらゆる場所で閲覧ができる。例えば、診察室で患者様に説明するために表示させたり、手術中に参照画像として確認したりすることが可能である。

『AIDR 3Dの特徴と特性』

東芝メディカルシステムズ（株）首都圏支社 CTアプリケーション担当 壺井 美香

2011年3月11日、東日本大震災。この日を境にテレビや新聞などのメディアでも『放射線』、『被ばく』の文字が毎日のように取り上げられ、国民全体の『放射線被ばく』に対する関心が高まった。

各メーカーからX線CT装置のハードウェアだけでなくソフトウェアの開発が進み、現在は画像再構成方法の一つである『逐次近似法』による被ばく低減技術が普及してきた。

今回は、東芝メディカルシステムズ株式会社の壺井氏に、逐次近似法であるAIDR 3Dについて物理的検討も踏まえて発表していただいた。

AIDR 3Dは、逐次近似応用再構成の中で、スキャナーモデル・統計学的ノイズモデル・アナトミカルモデルを用いて被ばく低減、ならびにノイズ低減による画質向上を図っている。

AIDR 3DのパラメーターはWeek・Mild・Standard・Strongの4種類あり、被ばく低減率とSD向上率が異なる。この4種類の機能を臨床で使用するに当たり、物理実験も行っている。検討項目はCT値、SD値、空間分解能、ストリークアーチファクトである。

線量が非常に少ない場合（5mAs程度）は、オリジナル画像よりもAIDR 3DではCT値が低いという結果であったが、臨床で使用する線量でないため、問題にならないと考える。また25mAs以上の線量の場合には、オリジナル画像とAIDR 3D（4種類）のCT値の差が認められないという結果だった。

SD値に関しても、上記同様で25mAs以上で線量によらず、Week・Mild・Standard・Strongの順に改善傾向が認められた。しかしながら、そのSD改善効果は、線量や再構成関数によって異なった。

空間分解能は視覚評価用ファントムを使用して検討を行っている。オリジナル、オリジナル+量子フィルタ、AIDR 3D（4種類）で比較を行っているが、ほとんど差が認められない。

ストリークアーチファクトの検討は、低コントラスト用ファントムの両サイドに希釈したバリウムを注入した楕円ファントムを配置したファントムを使用し、ストリークアーチファクトの低減効果を目視によ

り測定した。このストリークアーチファクト低減効果は、従来から用意されているストリークアーチファクト低減ソフト（Boost3D）や、量子フィルタの組み合わせよりもアーチファクト低減効果が高かった。

以上、壺井氏はAIDR 3Dの特徴と特性、そして被ばく低減について強調した上で発表していただいた。

現在、CT装置の逐次近似再構成法における物理実験が確立していないため、今回の実験内容に対しては賛否両論あると言える。しかしながら被ばく低減に関して、各メーカーの技術の進歩は計り知れず、臨床に役立っている。私達ユーザーは、CT装置の特徴と特性を理解する事により、CT検査における被ばく低減につながると考える。

2. 所沢PET画像診断クリニック 鈴木 蔵九

「shoulder coilに付属するshim deviceの有用性について」

石心会狭山病院 小谷野 裕也

撮影目的部位が磁場中心から離れてしまうoff-centerの場合、様々な方法で磁場不均一を補正しなければならない。小谷野氏の発表では、Siemens社製shoulder Arraycoilに付属している装置であるShimdeviceの有用性について検討された。

まずshimdeviceという聞きなれない装置については、Siemens社も詳細なデータがなく、よく理解されていない製品であり、実に不思議な製品である。

小谷野氏は、まずそこに着目し、Shimdeviceについて解明する。Shimdevice本体をCTで撮影してみると、Shimdevice内部に金属片があり、その金属片がPassiveShimmingの役割をしているのでは？

次に、検証方法だが、

- ① Shimdevice上に自作ファントム（縦方向9列、横方向8列に配置した円柱）とFlexCoilを配置。
- ② Shimdeviceから5cm離れた場所に、自作ファントムの横1列目を合わせ、縦5列目を磁場中心、高さを寝台から15cmの位置に配置し、ファントム中心とする。
- ③ FlexCoilで、Shimdeviceの有無を各方向（3方向、各位相エンコード）から撮影。
- ④ 歪み率（歪み率% = 真の距離 - 画像上の距離 / 真の距離 × 100）を算出し、shimdeviceの有無で比較を行う。

検証結果は、Shimdeviceの有無で、横方向8列に関しては歪み率の大きな差はなく、縦方向9列では、縦1-2間、縦8-9間は歪みが強く計測不能であった。縦方向1列目の4-5間、5-6間、6-7間、7-8間において歪み率改善が認められた。

今回の検証結果で、横方向の歪み率が、縦方向の歪み率に比べて変化が少なかった要因として、使用したシーケンスがSE法であったためとされている。これから様々なシーケンスにおいて検証されることを期待する。実際、臨床データを提示していただいたが、今回計測不能になっている場所は、临床上読影に支障がない場所であるため、臨床画像に影響はないとされている。撮影シーケンスが変わってきた場合、影響も生じる可能性があるため、合わせて報告されることを期待する。

Off-Centerでの撮影では、磁場不均一、歪みなどの影響は避けて通れない。臨床現場において、毎回考慮するところでもあり、またMRI装置の性能に左右されやすい。Shimdeviceの登場が、今後臨床現場で有用に活用されていくことを願う。

第二支部 第4回勉強会開催報告

開催日時：平成24年9月20日（木）18：30～20：30

開催場所：所沢市保健センター2F

参加人数：80名

内容

・製品紹介

「整形外科領域におけるトモシンセシスの有用性」

（株）島津製作所 医用機器事業部 マーケティング部アプリケーションG 葛西章

・整形領域セッション「整形外科領域の撮影技術向上を目指して」

1) 一般撮影（座長 埼玉社会保険病院 八木沢英樹）

防衛医科大学校病院 小池正行

2) CT（座長 上尾中央総合病院 佐々木庸浩）

済生会川口総合病院 城處洋輔

3) MRI（座長 獨協医科大学越谷病院 宿谷俊郎）

防衛医科大学校病院 吉原信幸

上尾中央総合病院 矢島慧介

1. 埼玉社会保険病院 八木沢 英樹

平成24年9月20日（木）第二地区勉強会が所沢市保健センター2Fホールにて開催された。

第1部：製品紹介では、「整形外科領域におけるトモシンセシスの有用性」について（株）島津製作所 医用機器事業部 マーケティング部アプリケーショングループ 葛西 章さまより、最新のトモシンセシスについてお話をいただいた。トモシンセシスは学会などでセッションが設けられるほどである。今回、私自身とても楽しみにしていた。十数年前までは、一般撮影室のエリアには断層の部屋があり、副鼻腔、胸部、頸椎、胸椎、腰椎などの領域を検査していた。CT装置の技術的進歩により、高精細、広範囲、任意の断面でのMPR作成、3D作成などができるようになり、断層装置は少しずつ姿を消していった。しかし、ここ数年の間にデジタル技術の進歩によりまた脚光を浴びることとなった。フィルムからデジタルになることでトモシンセシスの画像再構成は、コーン・ビームCTの再構成手法を基本とした、フィルタ補正逆投影法により画像を再構成する。これらにより、障害陰影低減、任意平面再構成（寝台長手方向のみ）一回の動作で多数の断面が得られる。現在は、主に整形領域の検査に使用されている。人工関節と骨の状態把握ではかなり力強い、金属からのアーチファクトにより、骨との関係がCT画像では観察しにくく、トモシンセシスではとても有効である。一回の撮影で、複数断面の画像作成は、被ばく低減にもつながる。オプションではあるが、デュアルエネルギーサブトラクションなどもあり、胸部領域での軟部像と骨像の分離ができ臨床での活躍が期待できる。これからもっと技術が進歩すると、ボリュームでデータを取ることでCTのように任意の断面でのMPR作成などができ、CT検査領域を脅かすことにもなりそうである。

第2部：「整形外科領域の撮影技術向上を目指して」と題して、一般撮影、CT、MRIのモダリティごとに発表が行われた。私の担当は一般撮影で、講師として防衛医科大学校病院 小池正行さまより、「単純撮影法開発手順」最適な膝蓋骨撮影法の開発から研究の進め方のお話をいただいた。小池さまは、大学病院では技師長であり、業務の忙しい合間をぬって博士課程に進んでいる方です。日常の一般撮影で何十年もの間、変わらぬ方法に疑問を持ち、もっと別の方法がないか考えることの重要性を教えてくださいました。研究の進め方には、目的を決め、過去の論文の検索、実際の目的撮影の頻度、研究に対して病院の倫理委員会承認の必要性、過去にはなかった3DCT画像から新しい考え方、実際の撮影からの適正角度の洗い出し、新たな撮影の補助具の作成、検証と事細かくお話しをいただいた。最後のまとめのスライドでは1. 全ての撮影法を簡単にするわけではないが一つでも不得意な撮影法が簡単に出来れば自信がつく。2. 当然撮影に余裕が出来る、にこやかになる。3. 五感で対応「思いやりの心」で撮影する。4. 患者さんは安心する。5. もう少し違う撮影法も工夫してみる。6. 良い（指標）Merkmalが発見できる。7. 試してみる、一般撮影がもっと楽しくなる。で締めくくられた。今回は一般撮影について話していただいたがこれは、全てのモダリティに通じる考えで、時間が過ぎるのがあつという間であった。今後、発表、論文など考えている方には楽しく聞くことができたのではないかと思います。日々の忙しい業務のなかで新たな撮影法の改善などを考えることで、仕事が生き生きと進めることができるのではないかと考える。

2. 上尾中央総合病院 佐々木 庸浩

「整形外科領域の撮影技術向上を目指して」について、CT領域では済生会川口総合病院、城處氏より発表があった。

まず撮影条件による画質の影響について、『off-center』『被写体角度』『再構成関数の選択』『再構成スライス厚』『撮影管電圧・線量』『再構成間隔』における問題点を話していただき、併せて影響が出ないようなポイントを話していただいた。

次に、撮影時におけるポジショニングから画像作成までについて、骨傷でのCT画像に求められるポイントを『手関節（橈骨遠位端骨折）』『肘関節（上腕骨遠位端骨折）』『肩関節（上腕骨頭骨折）』『膝関節（脛骨高原骨折）』の実症例を挙げ、それぞれの患者毎における、体位時の工夫・注意点、MPR画像の作成においては切り出し方の方法について詳細に述べ、作成者間での差が生じないように再現性の重要性を話していただいた。

最後に、骨領域でのDual Energyの利用について話していただいた。通常行われる検査での利用は限られた症例が対象となっているのが現状のようである。今後、様々な症例での使用法についての報告を期待したい。

整形外科領域での撮影は、日常よく依頼されるが体幹部とは異なり、被検者によって『可動域』『状態』は様々である。また撮影を担当する者（経験）によっても、『ポジショニング』『撮影条件』『画像表示』等の統一が難しいのが現状である。今回の城處氏の発表は、はじめに機器の特性を理解し、それらを最大限に生かした画像を提供する事が大切であると痛感させられ、また求められている画像をいかに理解し、なおかつ患者の負担が少なく最良の画像を提供していくことが、我々、診療放射線技師であると再認識させられた発表であった。

3. 獨協医科大学越谷病院 宿谷 俊郎

「整形外科領域の撮影技術向上を目指して」

上尾中央総合病院 放射線技術科 矢島 慧介

足関節のMRI検査は、治療方針の決定のために重要な検査となる。その内容として、腱、靭帯、骨軟骨の評価をすることが目的とされる。腱の病態として腱鞘（滑膜）炎、腱炎、腱部分断裂、腱断裂があり、腱鞘（滑膜）炎は腱周囲に液体貯留を認める。腱炎、腱部分断裂は紡錘上に腫大し、T2WIやT2*WIで高信号を呈し、菲薄化は重症化であり断裂の前兆である。腱断裂は横断像で連続性が見られない場合は断裂を疑う。矢状断や冠状断では、診断が困難なため必ず横断像を必要とする。腱鞘炎と腱炎の治療は治療法が同様のため、鑑別は重要ではないが、完全断裂は外科的治療を必要とするため、鑑別可能な画像を撮像することが必要である。

関節での代表的なアーチファクトであるマジックアングルアーチファクトは、短いTEを使用した時に腱が高信号を呈するため、PDWI、T1WI、T2*WIなどのシーケンスを使用する時には注意が必要となる。マジックアングルアーチファクトの回避は、T2WIの撮像が一般的ではあるが、ポジショニングを通常の背屈位から伸展位に変更することで、アーチファクトの回避が可能となった。

今後の展望として、T2MAPの提示があった場合は、マルチエコーで撮像し、T2値の測定を行うことで、軟骨変性の診断、軟骨の定量化が可能とされている。足関節ではいくつかの問題もあり、膝関節ならびに股関節ほど一般的ではないが、経験を積み上げて行くことで信頼のできる検査方法と期待する。

「整形外科領域の撮影技術向上を目指して～膝関節撮像の基礎～」

防衛医科大学校病院 放射線部 吉原 信幸

一般撮影は、スクリーニング的に用いられ、コストパフォーマンスに優れた検査方法である。CTは、石灰化の描出に優れているが、被ばくが多いこと、腱、軟骨などの描出に劣るため限られた疾患に使用される場合が多い。MRIは、優れたコントラスト分解能から多くの疾患が対象となる。しかし、欠点として静磁場強度、コイル、オペレータの熟練度などによって画質が左右される。またMRI検査を行う場合には、MRI特有の禁忌事項があることは短所のうちの一つである。

コイル選択は重要な項目である。コイルの構造上固定が容易なものを使用し、phased array coilを用いることで画質の向上となる。

撮像方向は矢状断面、冠状断面を主とし横断像を加えた3方向を撮像する。

膝のMRI検査の場合、矢状断は内側顆と外側顆の端まで含め、断面はあえてACLに合わせる必要はない。スライス厚3mm程度であれば問題無く撮像が可能である。冠状断は膝蓋骨前縁から大腿骨内側顆と外側顆の背側までとする。横断像は、膝蓋骨上端から脛骨高原とし、角度は付けず血流のアーチファクトを低減するため、上下にsat pulseの付加をする。

脂肪抑制画像のTE値は70msec程度とする。100msec以上とした場合、骨、筋の信号が低信号となりすぎて、診断が困難となるため、TE値の設定は注意すべきである。

医師からのT1、T2の3方向、膝内障、両膝のオーダは無視し、適切な撮像を行う。代表的な疾患を知ることで診断に有効な画像の提供が可能となる。

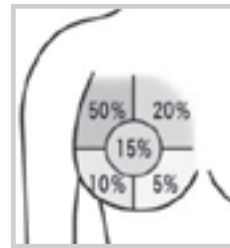
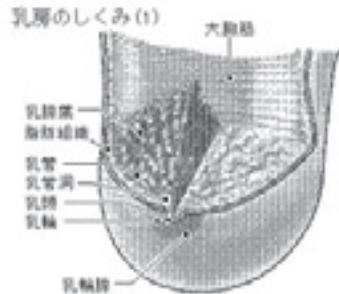
第三支部

第三支部だより

第三支部理事 庭田 清隆

(1) 第2回 第三支部 勉強会 開催

- 日 時： 平成 24 年 11 月 20 日 火曜日 19:30～
 場 所： 埼玉医科大学国際医療センター C棟 2階 会議室
 内 容： 当院における乳がん患者の検査から手術まで
 埼玉医科大学国際医療センター 森田 政則
 埼玉医科大学国際医療センター 山口 春果

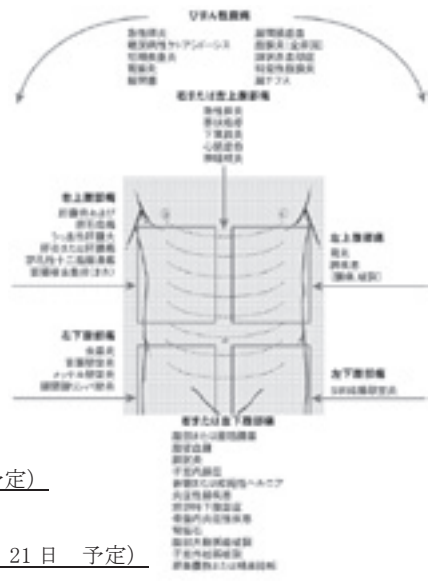


(2) 第1回 第三支部 役員会

- 日 時： 平成 24 年 11 月 20 日 火曜日 21:00～
 場 所： 埼玉医科大学国際医療センター C棟 2階 会議室
 内 容： 合同勉強会について、懇親会について、新年会会場、他確認事項

(3) 平成 24 年度 第二支部・第三支部 合同勉強会 開催

- 日 時： 平成 24 年 12 月 1 日 土曜日 14:00～
 場 所： 埼玉医科大学川越クリニック 6階 大会議室
 テーマ： 急性腹症



(4) 第三支部・第三地区 平成 24 年度事業計画

- ア. 新年会 (平成 25 年 1 月 5 日 予定)
- イ. 第 3 回 第三支部勉強会 (平成 25 年 3 月 21 日 予定)
- ウ. 第 3 回 役員会 (平成 25 年 3 月 21 日 予定)
- エ. 平成 24 年度 第三支部 定期総会 (平成 25 年 3 月 21 日 予定)

第三地区会

(5) リレー・フォー・ライフ川越 2012 参加報告

日時： 平成 24 年 9 月 15 日 土曜日 13:00 ～ 平成 24 年 9 月 16 日 日曜日 13:00

場所： 川越水上公園芝生広場 埼玉県川越市大字池辺 880

参加： 51 名（第三支部会員 40 名を含む）

イベント： 乳がん検診説明会

埼玉医科大学総合医療センター中央放射線部 石田 直之

CT コロノグラフィ説明会

埼玉医科大学総合医療センター中央放射線部 清水 隆広

東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）被災写真展示 他

本年度も、リレー・フォー・ライフ川越に参加いたしました。がん征圧に向けて少しでもお役に立てればと、乳がん検診説明会、CT コロノグラフィ説明会を開催。また東日本大震災復興に向けて募金活動を致しました。

9 月とはいえ、真夏を思わせる日差しの下、埼玉県診療放射線技師会として、51 名の方が参加していただき、がん患者さんやご家族の方と接し、支援する気持ちの大切さ、支えるとは何かを感じることが出来たに違いありません。来年、再来年と、支援の輪が広がり、より多くの方が参加されることを願っております。

皆様からのご支援、
心より感謝申し上げます。



(6) 第三地区ボウリング大会開催報告

日時 平成 24 年 10 月 25 日（木）19:00～

場所 川越ボウリングセンター

〒350-0806 埼玉県川越市大字天沼新田 318 049-231-3681

(7) 第 25 回 川越市健康まつり 医療画像展開催報告

日時 平成 24 年 11 月 4 日（日）10:00～14:00

（オープニングイベント 9:30～10:00）

場所 川越市総合保健センター

埼玉県川越市小ヶ谷 817-1

川越市マスコットキャラクター

ときも



第四支部

支 部 報 告

支部報告

1. 第2回支部勉強会

日 時：平成24年9月27日（木） 午後6時30分～

場 所：さくらめいと 熊谷文化創造館 第1会議室

内 容：「非造影アプリケーションの最新動向」

東芝メディカル システムズ（株）

MRI営業部 アプリケーションスペシャリスト 山下 裕市 氏

参加者：44名

2. 第4回地区役員会

日 時：平成24年9月27日（木）

場 所：さくらめいと 熊谷文化創造館 第1会議室

参加者：7名

今後の予定（平成24年10月6日 現在）

1. 埼放技 学術・支部 講演会

日 時：平成24年10月12日（金） 午後6時30分～

場 所：さくらめいと 熊谷文化創造館 第1会議室

内 容：腎機能と造影検査

第一三共株式会社 杉林 博幸 氏

胸部単純読影の実際

埼玉県立小児医療センター 田中 宏 氏

CT読影の実際

済生会川口総合病院 富田 博信 氏

2. 医療画像展「深谷市福祉健康まつり」

日 時：平成24年10月28日 10時～15時

場 所：深谷市総合体育館及びその周辺

内 容：パネル展示、骨密度測定、ヨーヨーつり、頸部エコー（予定）

3. 地区忘年会

日 時：平成24年11月30日19時～

場 所：キングアンバサダーホテル熊谷

今後にもいろいろな活動が行われます。一人でも多くの方にご参加いただきたく思います。

よろしくお願い致します。

平成 24 年 10 月 吉日

会員、賛助会員各位

埼玉県診療放射線技師会第 4 地区会

会長 山田 伸司



忘年会のお知らせ

拝啓

秋冷の候、会員、賛助会員の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃は大変お世話になっております。本年も早いもので残り僅かとなり、お忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。

当第 4 地区会においては、何かと皆様のご協力を賜り、各種事業を執り行うことができ、役員一同感謝しております。

つきましては、皆様の日ごろの御慰労と会員相互の親睦をかねまして、忘年会を催したく存じます。お忙しい時期ではございますが、どうか多くの方々のご参加をお願い申し上げます。

なお、会場の都合上、出席者の人数を確認いたします。ご面倒とは存じますが、出席の有無につきまして、11 月 16 日（金）までにお近くの地区役員に電話、またはメールにてお返事をいただくと幸いです。

敬具

記

日時 平成 23 年 11 月 30 日（金） 午後 7 時 00 分から
 場所 キングアンバサダーホテル熊谷 熊谷市筑波 1-99-1
 TEL 048-501-0077 <http://www.king-a.jp/>
 会費 会員 6,000 円
 賛助会員他 8,000 円

* 宿泊希望の方は、上記 Web サイトをご参照の上、ホテルにお問い合わせください。

以上

問合わせ	小川赤十字病院	山田 伸司	TEL 0493-72-2333 s-yamada@sart.jp
	小鹿野中央病院	関根 茂夫	TEL 0494-75-2332
	東松山市立市民病院	山崎 由紀敏	TEL 0493-24-6111
	深谷赤十字病院	斎藤 幸夫	TEL 048-571-1511
	深谷赤十字病院	小林 茂幸	TEL 048-571-1511
	行田中央総合病院	萩原 貴之	TEL 048-553-2000
	熊谷総合病院	清水 浩和	TEL 048-521-0065
	羽生総合病院	大野 渉	TEL 048-562-3000

第五支部

第五支部

情報交換会

場所は春日部市にある市民活動センター〔ふれあいキューブ〕
会議室をご用意いたします

11月15日 19:00～(予定)

12月20日 19:00～(予定)

詳しくはHP等でご案内致します。

(気軽にご来場していただいて、ご意見などお伺いできれば幸いです)

(グチャや世間話でもOKです)

テーマなど皆さんのご意見をお待ちしています。



五支部理事 矢崎 (i-yazaki@sart.jp)



情報交換会以外でもご意見ご提案があれば気軽にご連絡ください



第六支部

Lock ON

埼玉県診療放射線技師会第六支部

発行：埼玉県診療放射線技師会第六支部会

[診療放射線技師と救急医療]

学術 中山 勝雅

2012年9月29日 平成24年度 4号

診療放射線技師と救急医療

上尾中央総合病院 中山 勝雅

今日、救急医療に関する関心が上昇している中、我々診療放射線技師はどうあるべきなのか？

一般市民が CPR の方法を学ぶ機会が増え、街中でも AED を見かける機会が多くなってきました。また医療機関においても、以前より医師、看護師を中心として心肺蘇生講習が普及しています。

そのような中、我々診療放射線技師はどうでしょうか？

私が10年ほど前に血管造影検査の担当になった時「心臓マッサージは頭では理解しているし、カテ室でも何度かやったことがあるから自分ではできる」「患者急変時を何度か経験しているので、大丈夫」「お金もかかるし、時間ももったいない」などと、今は恥ずべきことですが、救命コースを馬鹿にしていたことがありました。

正しい胸骨圧迫の方法？共通の救急対応のプロトコルは？そんな中、日本救急医学会 ICLS コースにて学んだところ、エビデンスを持った BLS や救急対応のプロトコルは、多職種で行われるチーム医療で最も重要で、自分勝手な

見解や自己流では、なしえないものであると実感させられたのです。

それから現在に至るまで ICLS 認定インストラクターを通じて思うことは、診療放射線技師は、もっと救急医療の現場に台頭するべきだということです。それを実現するために、まずは自分の病院の放射線科からと思い、多数の受講と、インストラクターを育てることが出来ました。しかしながら、まだまだ診療放射線技師の受講生は少なく、関心が低いと言わざるを得ません。CT室での急変時初期対応するのは誰でしょうか？MRI室での急変時対応するのは誰でしょうか？頭では理解していても実際体は動きますか？

我々診療放射線技師が、チーム医療の一員として、医療人として認められるためには、救急医療にも台頭していく必要があるのではないのでしょうか。

今年度、埼玉県診療放射線技師会で BLS 講習を行います。手始めに受講してみたいかでしょうか？

面倒くさがらず、恐れず、積極的に救急医療に関わって欲しいと切に願います。

Lock ON

平成24年度 第1回常務理事会議事録（抄）

日 時：平成24年7月4日（水）18：30～21：00

場 所：公益社団法人埼玉県診療放射線技師会事務所

出席者：会長 小川 清

副会長 堀江 好一、橋本 里見

常任理事 田中 宏、結城 朋子、富田 博信、
潮田 陽一

委任状提出：芦葉 弘志、中村 正之

第1. 会長挨拶（要旨）

今年度も本格的に稼働し始めました。スキルアップに関するイベントなどが開催されていますが、よろしくお祈りします。

第2. 議事録作成人、議事録署名人の選出

議 長 小川 清

議事録署名人 橋本 里見、堀江 好一

議事録作成人 田中 宏と定めた。

議事録作成人、議事録署名人の選出に続き、小川会長を議長に選出し、平成24年度、第1回常務理事会を開催した。

第3. 報告および確認事項

1. 会長（小川）

- (1) 表彰関係について報告した。
- (2) 全国診療放射線技師総合学術大会（名古屋）の事前参加券および情報交換会券について報告した。
- (3) 平成24年度関東甲信越診療放射線技師学術大会の演題締め切りを延長した。
- (4) 日本放射線技術学会との合同共催セミナーの開催について報告した。
- (5) 日本放射線技師会委員会委員について報告した。

2. 堀江副会長

- (1) 6月19日（火）フィルムリーディングシステムに関してドクターネットと打合せを行った。
- (2) 6月20日（水）17：30頃、本会がホスティングサービス（レンタルサーバ）を利用している（株）ファーストサーバのサーバに障害が生じ、本会のウェブサイトおよびメールに関する全てのファイルが消失した。（被害を受けた契約団体等は約5,700団体におよんだ）
翌6月21日（木）、編集情報委員会肥沼委員と白石委員、私で、一部のデータを除き復旧した。ファーストサーバの重大な過失が原因であることから、何らかの賠償を要求したい。
- (3) 6月26日（火）埼玉県医療整備課宛に「条例で定める医療施設の人員、施設等の基準への意見等」をFAXにて送信した。

3. 橋本副会長

- (1) 6月24日（日）日本診療放射線技師会主催の放射線管理士資格停止者向け講習会の実行委員として協力した。受講者は13名であった。

4. 総務（田中）

- (1) 技師会事務所電光看板の変更について2社へ見積もりを依頼した。
- (2) 読影実践トレーニング胸部編
6月15日上尾中央総合病院看護研修センターで開催した。参加者53名。
9月7日済生会川口総合病院
11月16日日本医療科学大学
10月に第四地区より開催依頼有り（12日または19日）

5. 総務（芦葉）

- (1) 11月4日予定のソフトボール大会について理事、賛助会員、編集へそれぞれ案内と参加申込書をメールにて配信した。
- (2) 11月22日予定の役員研修会にて会場のソニックシティを予約した。

6. 財務（結城）

- (1) 平成24年度賛助会員会24社に対し、賛助会費の請求を行った。
- (2) 第一回読影トレーニング収支について報告をした。

7. 編集情報（潮田）

- (1) 編集情報委員会開催
 1. 第2回編集・情報委員会
 - (1) 日時：平成24年6月12日 18：30～20：30
 - (2) 場所：技師会センター
 - (3) 内容：
 - a. 埼玉放射線 2012年第4号発刊について
 - b. 埼玉放射線2012年第4号表紙について
 - c. Web管理およびメールマガジン発行について
 - (a) 掲示板の利用が無いので削除したい
 - (b) Studyの研究会はHPを使用していないようなので削除したい
 - d. その他
 - (2) 埼玉放射線（会誌）について
 1. 埼玉放射線第4号は平成24年7月12日発刊予定
 - (3) Webサイト更新
 1. 会員向けホームページ更新
 - (1) 循環器画像技術研究会 第286回定例会のお知らせ
 - (2) 埼玉消化管撮影研究会
 - (3) 平成24年度MRI合同学術講演会
 - (4) 第45回 埼玉CT Technology Seminar開催のお知らせ
 - (5) 埼玉県診療放射線技師会・埼玉CTテクノロジーセミナー合同企画
「学会発表・演者席に立つまでの道のり」
 - (6) 第18回 埼玉臨床画像研究会
 - (7) 第6回JART-JSRT 公開合同学術セミナー
 - (8) 第4支部 納涼会のご案内
 - (9) リレー・フォー・ライフ川越2012ボランティア募集のお知らせ

2. Web・メールlost報告

(1) 平成24年6月20日17:30頃、本会がホスティングサービスを契約しているファーストサーバ社のサーバに障害が発生したため緊急修正作業。

(2) 内容:

- a. サーバ内の全データ消滅
- b. 大部分はバックアップにてアップロードして復旧。(概算ファイル数:2200、フォルダ数365)
- c. 復旧できないもの
 - (a) 通信障害の日以前に書き込まれた全履歴・データ
 - (b) 技師会センター 会議室予約状況確認専用ページ履歴
 - (c) 医用画像パネル・のぼり・骨密度装置・貸し出し状況確認専用ページ履歴
 - (d) 年間予定履歴
 - (e) 掲示板ログ(現在使用頻度が無いので再構築せず)
 - (f) 学術データベース登録履歴(現在未公開)
 - (g) 各委員会アップローダーにアップされていたデータ。
- d. 再設定を行ったもの
 - (a) コンフィグレーター登録
 - (b) FTP登録
 - (c) メールアドレスアカウント(57件)
 - (d) 転送メールアカウント(10件)
 - (e) メーリングリスト、メールマガジン(3件)
 - (f) SARTメールマガジン登録(97件)
 - (g) 東京埼玉医用乳房画像研究会登録(348件)
 - (h) パーミッション
 - 1 医用画像パネル・のぼり・骨密度装置・貸し出し状況確認専用ページ
 - 2 技師会センター 会議室予約状況確認専用ページ履歴
 - 3 学術データベース
 - 4 年間予定
 - 5 専用ページ入室プロテクト(技師会センター 会議室予約状況、医用画像パネルのぼり、骨密度装置貸し出し、各委員会のアップローダー(4件))
 - 6 メールマガ登録案内フォーム
 - 7 学術大会演題フォーム(申し込み時期がきたら再設定予定)
 - 8 掲示板および認定技師入室のためのパスワード通知フォーム。
 - 9 その他過去申し込みフォーム(16件:使用済みフォームのため再設定予定なし)
- e. 再設定その他
 - (a) CGIプログラム(予定表・予約ページなど) 今後は再書き込みにて追加修正

(b) SARTメールマガジン(過去申し込み者のアドレスもあり変更されている場合はエラーリストから随時再設定(削除))

8. 学術(富田)

- (1) 委員会開催報告

各セミナーの準備を順調に行っている。CT、MRI講習会に関しては講師、日程が確定した。

ア、第2回 MRIセミナーは平成24年11月18日(日)

イ、第4回CT認定講習会は平成24年10月27日(土)、28日(日)
- (2) 静脈注射(針刺しを除く)講習会開催申請をした。第1希望日として12月16日(日曜)、第2希望日として12月2日(日曜)とした。

9. 公益(中村)

- (1) 第1回公益委員会を開催

ア、日時:平成24年6月20日(水)18:30~21:30

イ、場所:技師会センター

ウ、参加者:5名
- (2) 6月26日(火)久世造花よりのぼり棒 旗の搬入
- (3) 公益委員会にてパネル作成中
- (4) 今後の被ばく相談について

審議・承認事項

1. 他県在住および勤務の入会希望者に対する対応について審議した。現法人の定款では入会資格に住居地および勤務先地に関する制約はない。しかし、入会希望者の意志を尊重しながらも都道府県技師会間どうしの誤解をさける為、入会手続きに際しては関係都道府県技師会了解を得る必要があり、書式を作成した。これらの手続きに関して審議し、承認した。(議案書番号:常理-33)(承認)
2. 学術などのセミナー申し込みのWeb化に関して審議した。これまで申し込みをFAX、Webと2通りの申し込み方法で運用をしてきたが、事務処理が煩雑となり返信FAXの誤送信などがあったこと、そして会員の利便性などを考え、今後はWebサイトからのみに統一することを審議し、承認した。(議案書番号:常理-34)(承認)
3. 放射線技術学会関東部会合同学術セミナー開催について審議した。両団体の交流および活性化を図るために合同開催は継続、発展させる必要があり、内容は読影セミナー(MMG、消化管、CT)とする。これらについて審議し、承認した。(議案書番号:常理-35)(承認)

次回、平成24年度 第2回常務理事会予定 平成24年9月5日(水)

配布資料(メール配信を含む)

- (1) 会長資料
- (2) 副会長資料
- (3) 総務、財務資料
- (4) 編集情報資料
- (5) 公益資料
- (6) 学術資料
- (7) 議事録

平成24年度 第4回理事会議事録（抄）

日 時：平成24年8月1日（水）
午後6時30分～午後9時30分

場 所：公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会事務所

出席者：会長：小川 清
副会長：堀江 好一、橋本 里見
常務理事：田中 宏、芦葉 弘志、結城 朋子、中村 正之、富田 博信、潮田 陽一
理事：星野 弘、八木沢 英樹、佐々木 健、今出 克利、双木 邦博、大西 圭一、庭田 清隆、山田 伸司、矢崎 一郎、石川 直哉
監事：山本 英明
顧問：和田 幸人
委任状提出者：栗田 幸喜
欠席：鈴木 正人

第1. 会長挨拶（要旨）

8月に入り、技師会活動も多忙を期しております。今年度の行事について、良いところ悪いところをしっかりと討議し、魅力ある会を作っていきたいと思っております。入会は待っているだけでは進みませんので、様々な方法でアプローチをしてください。

生涯教育をさらに発展させるために、全国、地域と協力して活動していきたいと思っております。

第2. 議事録作成人、議事録署名人の選出

議長：橋本 里見
議事録署名人：小川 清、山本 英明
議事録作成人：芦葉 弘志
と定めた

第3. 報告および確認事項

1. 会長（小川）挨拶

- (1) 公衆衛生事業功労埼玉県知事表彰および公衆衛生事業功労協会について報告した。
- (2) 全国診療放射線技師総合学術大会（名古屋）事前参加券および情報交換会券の購入状況について報告があった。
- (3) 業務拡大講習会（下部消化管）について報告があった。
- (4) 業務拡大講習会（抜針）について報告があった。
- (5) 平成24年度関東甲信越診療放射線技師学術大会の事前登録をお願いする旨の報告があった。
- (6) 生涯学習カウントについての報告があった。

2. 副会長（堀江）

- (1) 6月19日（火）（株）ドクターネットと関東甲信越診療放射線技師学術大会に、読影コーナーを開催するための打ち合わせを行なった。
- (2) 6月20日（水）17：30頃、本会がホスティングサービス（レンタルサーバ）を利用している、（株）ファーストサーバのサーバに障害が生じ、本会のウェブサイトおよびメールに関する全てのファイルが消失した。翌6月21日（木）、編集情報委員会肥沼委員と私とで、一部を除き復旧した。ファーストサーバの重大な過失が原因であった。7月になり、ファーストサーバより賠償金の振り込み通知が届いた。
- (3) 6月26日（火）埼玉県医療整備課宛てに「条例で定める医療施設の人員、施設等の基準への意見等」として意見を

FAXにて送信した。

- (4) 6月28日（木）第六地区会納涼会に出席した。
- (5) 関東甲信越学術大会抄録集へ掲載される、フィルムリーディングコーナーの紹介文章を送信した。

3. 副会長（橋本）

- (1) 6月24日（日）日本診療放射線技師会主催の放射線管理士資格停止者向け講習会のスタッフとして協力した。受講者は13名。
- (2) 7月14日（土）北関東地域放射線技師拡大大会長会議に出席した。
- (3) 7月21日（土）日本診療放射線技師会主催の医療画像情報精度管理士移行講習会のスタッフとして協力した。受講者は埼玉県会員20名。
- (4) 公益社団法人埼玉県看護協会から「第6回埼玉医療安全大会」の後援依頼があった。プログラム内容から承認することに問題はなく、7月10日までの回答期限にての後援依頼となっており、承認することで回答した。

4. 総務（田中）

- (1) 読影実践トレーニング胸部編
6月15日上尾中央総合病院看護研修センターで開催した。参加者53名。
9月7日済生会川口総合病院
10月12日さくらめいと
11月16日日本医療科学大学
- (2) 理事会決議事項
ア. イベントについては、これまで通り理事会決議事項とする。
イ. 本会が他団体に対し、名称後援をする場合は会長決裁とする。

5. 総務（芦葉）

- (1) 総会報告
議事録を作成し、議長へ押印署名を郵送にて行った。8月1日理事会にて理事全員に署名押印予定。
- (2) ソフトボール大会について
理事、賛助会員、編集へそれぞれ案内と参加申込書をメールにて配信した。
諸事情により、石油健保組合グラウンドから変更。議案にて詳細を報告する。
- (3) 役員研修会について
平成24年11月22日木曜日19：00から開催 ソニックシティ905号室を予約した。
- (4) 名刺作成 望月印刷より理事の名刺が納品された。

6. 編集・情報（潮田）

- (1) 埼玉放射線2012年第4号の発行
ア. 埼玉放射線2012年第4号の発行は7月11日に発行した。
- (2) Webサイトの運営
ア. 各勉強会案内の更新を行った。
イ. サーバに障害が発生したため、緊急修正作業を行った。
- (3) 今後の予定
ア. 第3回編集・情報委員会（2012No.3）
イ. 埼玉放射線 2012年第5号発行
(4) 埼玉放射線2012年第5号掲載予定内容の確認

7. 編集・情報（八木沢）

- (1) Webサイト 掲載および更新（会員用）を確認した。
- (2) Webサイト 掲載および更新（一般用）を確認した。
- (3) メールマガジンNo.50の配信をした。
- (4) サーバダウンに伴う、埼放技Web修正を行なった。

8. 学術（富田）

- (1) 第2回学術委員会を平成24年7月17日（火）に技師会センターにて行った。
 - ア. 平成24年度各認定講習会セミナー担当者と内容の検討。
 - イ. 平成24年度学術大会骨子の検討と25年度学術大会に関して。
- (2) 静脈注射（針刺しを除く）講習会開催申請をした。
平成24年12月16日に開催。

9. 公益（中村）

- (1) 第1回公益委員会を開催した。
 - ア. 日 時：平成24年6月20日（水）18：30～21：30
 - イ. 場 所：技師会センター
 - ウ. 参加者：5名
- (2) 6月26日（火）久世造花よりのぼり旗の搬入
- (3) 第2回公益委員会を開催
 - ア. 日 時：平成24年7月26日（木）18：30～21：30
 - イ. 場 所：技師会センター
 - ウ. 参加者：6名
- (4) 今後の被ばく相談について
- (5) 公益委員会にてパネルを作成中

10. 財務（結城）

- (1) 平成24年度賛助会員会費請求について
賛助会員24社に対し、平成24年度賛助会費の請求を行った。
- (2) 第1回読影トレーニング収支について資料を元に説明した。

11. 第一支部（双木）

- (1) 第2回支部勉強会を開催する。
 - 日 時：平成24年8月29日（水）19：00～21：00
 - 場 所：済生会川口総合病院
- (2) 浦和区健康祭りに参加する。
 - 日 時：平成24年11月3日（土）10：00～16：00
 - 場 所：浦和コミュニティセンター（浦和駅東口コンナール10階）

12. 第二支部（大西）

- (1) 第3回勉強会を開催した。
 - 日 時：平成24年6月21日（木）18：30～20：30
 - 場 所：所沢市保健センター
- (2) 一、二、六支部合同勉強会を開催する。
 - 日 時：平成24年9月9日（日）13：00～
 - 場 所：大宮法科大学院大学
- (3) 第4回勉強会を開催する。
 - 日 時：平成24年9月20日（木）18：30～
 - 場 所：所沢市保健センター
- (4) 第5回勉強会を開催する。
 - 日 時：平成24年10月18日（木）18：30～
 - 場 所：所沢市保健センター
- (5) 第6回勉強会を開催する。
 - 日 時：平成24年11月15日（木）18：30～
 - 場 所：所沢市保健センター
- (6) 二、三支部合同勉強会を開催する。

日 時：平成24年12月1日（土）14：00～

場 所：川越クリニック

- (7) 第7回勉強会・地区総会を開催する。

日 時：平成25年2月7日（木）18：30～

場 所：所沢市保健センター

13. 第三支部（庭田）

- (1) 第1回支部勉強会を開催した。
 - 日 時：平成24年6月21日（木）19：00～21：00
 - 場 所：埼玉医科大学総合医療センター 5階大講堂・ゼミ1
- (2) 第1回支部役員会を開催した。
 - 日 時：平成24年6月21日（木）21：00～21：20
 - 場 所：埼玉医科大学総合医療センター 5階大講堂
- (3) 第26回 川越市健康まつり 第1回実行委員会に出席した。
 - 日 時：平成24年7月12日（木）13：40～15：00
 - 場 所：川越市総合保健センター 1階 研修室
- (5) 第三地区納涼会を開催した。
 - 日 時：平成24年7月28日土曜日 19：30～21：30
 - 場 所：手作り居酒屋 甘太郎 川越店 埼玉県川越市 脇田町9-3三経71ビル2F
- (6) リレー・フォー・ライフ川越協力参加する。（平成24年9月15～16日）
- (7) ボウリング大会を開催する。（平成24年10月25日 予定）
- (8) 川越市健康まつりに参加する。（平成24年11月4日 予定）
- (9) 第2回 第三支部勉強会を開催する。（平成24年11月22日 予定）
- (10) 第2回 役員会を開催する。（平成24年11月22日 予定）
- (11) 第二、三支部合同勉強会（平成24年12月1日 予定）
- (12) 新年会を開催する。（平成25年1月5日 予定）
- (13) 第3回 第三支部勉強会を開催する。（平成25年3月21日 予定）
- (14) 第3回 役員会を開催する。（平成25年3月21日 予定）
- (15) 平成24年度 第三支部 定期総会を開催する。（平成25年3月21日 予定）

14. 第四支部（山田）

- (1) 納涼会を開催した。
 - 日 時：平成24年7月27日（金）19：00～
 - 場 所：酒業工房 禅や
- (2) 支部勉強会を開催する。
 - 日 時：9月中
- (3) 読影実践トレーニング（胸部編）を開催する。
 - 日 時：平成24年10月12日（金）18：30～
 - 場 所：熊谷文化創造館 さくらめいと
- (4) 医療画像展「深谷市福祉健康まつり」を開催する。
 - 日 時：平成24年10月28日（日）10：00～15：00
 - 場 所：深谷市総合体育館およびその周辺

15. 第五支部（矢崎）

- (1) 支部情報交換会を開催した。
 - 日 時：平成24年6月21日（木）
 - 場 所：春日部市市民活動センター
- (2) 支部情報交換会を開催した。
 - 日 時：平成24年7月19日（木）
 - 場 所：春日部市市民活動センター
- (3) 越谷市市民祭り事業室会議に参加した。
 - 日 時：平成24年6月12日
 - 日 時：平成24年7月19日

- (4) 地区情報交換会を開催する。
日 時：平成24年8月23日（木）
日 時：平成24年9月20日（木）
場 所：春日部市市民活動センター
- (5) 越谷市民祭り事業室会議に参加する。
日 時：平成24年9月11日 10月9日
- (6) 医療画像展を開催する。（越谷市民祭り）
日 時：平成24年10月21日（日）
場 所：越谷市役所庁舎内

16. 第六支部（石川）

- (1) 定期講習会を開催した。
日 時：平成24年6月7日（木）19：00～
場 所：上尾中央総合病院
- (2) 納涼会を開催した。
日 時：平成24年6月28日（木）19：00～
場 所：おだいどこ はなれ

第4. 審議・承認事項

- 他県在住および勤務の入会希望者に対する対応について審議した。現法人の定款では入会資格に居住地および勤務先地に関する制約はない。しかし、入会希望者の意志を尊重しながらも都道府県技師会間の誤解をさけるため、入会手続きに際しては関係都道府県技師会の了解を得る必要があり書式を作成した。これらの手続きに関して承認した。（議案書番号：理-33）（承認）（字句訂正後承認）
- 学術などのセミナー申し込みWeb化について審議した。申し込み方法はこれまでFAX・Webの2通りで運用を行ってきたが、事務処理が煩雑となり返信FAXの誤送信などがあった。また会員の利便性を考慮し、今後はWebサイトのみで一本化することを承認した。（議案書番号：理-34）（承認）
- 放射線技術学会関東部会合同学術セミナー開催について審議した。両団体の交流および活性化を図るために合同開催は継続、発展させる必要がある。内容は読影セミナー（MMG、消化管、CT）とする。これらについて承認した。（議案書番号：理-35）（承認）
- 今年度の学術大会テーマについて審議した。学術委員会より『業務拡大の希望と責務』が提案されたが出席理事から「希望」ではなく「期待」にしてはどうかという意見があり、『業務拡大の期待と責務』に変更した上で承認となった。（議案書番号：理-36）（一部修正後承認）
- 『埼玉放射線学術大会』の学術大会名変更について審議した。案として1.『埼玉放射線学術大会』（変更なし）2.『埼玉診療放射線学術大会』3.『埼玉診療放射線技師学術大会』（日放技と名称を合わせる）の3つが提案された。公益社団法人日本診療放射線技師会主催の学術大会では、「診療」を入れ、日本診療放射線技師学術大会としたとの追加説明が担当理事よりあった。出席理事から学術大会の名称は今後も使用していくものであり、重要案件の一つである。そのため年度途中で変更するのではなく、事業計画に提出し、承認されることが望ましいとの意見があった。採決の結果、一度差戻しとし、平成25年度に向けての検討課題となった。（議案書番号：理-37）（差戻し）
- 新入会の承認について審議し承認した。（議案書番号：理-38）（承認）
- 平成24年度新春の集い実行委員会立ち上げについて審議した。開催日は平成25年1月11日（金）、会場は大宮サンパレス、実行委員長は芦葉常務理事としたい旨の説明が担当理事よりあり、これらについて承認となった。（議案書番号：理-39）

（承認）

- 電光看板の変更について審議した。公益社団法人埼玉県診療放射線技師会への名称変更に伴い、電光看板の変更を行う必要性について説明があった。電光看板および玄関は「公益社団法人埼玉県診療放射線技師会」とすることで承認された。また「技師会センター」という呼び名を、今後は「技師会事務所」に統一することも確認した。（議案書番号：理-40）（字句訂正後承認）
- 彩の国いきいきフェスティバルの参加について審議し、承認となった。（議案書番号：理-41）（承認）
- 深谷市福祉健康まつりへの参加、医療画像展の開催に関し、予算案および、骨密度測定装置・展示パネル・のぼりの貸出しについて審議し承認となった。（議案書番号：理-42）（承認）
- 第38回越谷市民祭りへの参加、開催予定の医療画像展に関し、予算案および、展示パネル・骨密度測定装置の貸し出しについて審議し、承認となった。（議案書番号：理-43）（承認）
- 特別委員会（学術大会における読影コーナー準備委員会）設置について審議した。関東甲信越診療放射線技師学術大会では、（株）ドクターネットの協力を得て、本大会がフィルムリーディングコーナーを担当することとなった。本大会および来年3月の埼玉放射線学術大会に向けての準備や、システム構築を行う委員会として「学術大会における読影コーナー準備委員会」を設置したい。なお本委員会は、平成25年3月を目途に解散予定の特別委員会とするとの説明が担当理事よりされた上で承認となった。（議案書番号：理-44）（承認）
- 本会名称入りボールペンの作成について審議した。県民の皆様へのサービス、また本会新名称のアピールも兼ねて、参加イベント来場者配布用の名入りボールペンを作成したい。予算について財務常務理事に確認を行い、了承を得た上で承認となった。（議案書番号：理-45）（承認）
- ソフトボール大会中止について審議した。石油健保組合グラウンドが諸事情により本年10月をもって閉鎖となる。その他の候補地を多数当たったが、条件を満たしたグラウンドは確保できなかった。レクリエーション事業は必要と考えているが、ソフトボールを今後続けるのか、また違う形で事業を継続するかは、来年度の事業計画で議論していきたいと考えていると担当理事より説明があった。今年度のソフトボール大会については中止ということで承認となった。（議案書番号：理-46）（承認）
- 公益社団法人埼玉県看護協会からの後援依頼について審議した。「第6回埼玉医療安全大会」の後援依頼について副会長より説明があり承認となった。（議案書番号：理-47）（承認）

配布資料（メール配信を含む）

- 会長資料
- 副会長資料
- 総務・財務資料
- 編集・情報資料
- 学術資料
- 公益資料
- ホームページ資料
- 各地区資料（第一支部、第二支部、第三支部、第四支部、第五支部、第六支部）
- 議案書

公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会

平成24・25年度役員名簿

役 職 名	氏 名	勤 務 先	勤務先電話	技師会メール
会 長	小川 清	小川赤十字病院	0493-72-2333	k-ogawa@sart.jp
副 会 長	堀江 好一	社会保険大宮総合病院	048-663-1671	k-horie@sart.jp
副 会 長	橋本 里見	埼玉社会保険病院	048-832-4951	s-hashimoto@sart.jp
常務理事(総務)	田中 宏	埼玉県立小児医療センター	048-758-1811	h-tanaka@sart.jp
常務理事(総務)	芦葉 弘志	丸山記念総合病院	048-757-3511	h-ashiba@sart.jp
常務理事(財務)	結城 朋子	済生会川口総合病院	048-253-1551	t-yuuki@sart.jp
常務理事(編集・情報)	潮田 陽一	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3593	y-ushioda@sart.jp
常務理事(学術)	富田 博信	済生会川口総合病院	048-253-1551	h-tomita@sart.jp
常務理事(公益)	中村 正之	獨協医科大学越谷病院	048-965-1111	m-nakamura@sart.jp
理 事(学術)	栗田 幸喜	済生会栗橋病院	0480-52-3611	k-kurita@sart.jp
理 事(学術)	今出 克利	さいたま市民医療センター	048-626-0011	k-imade@sart.jp
理 事(学術)	佐々木 健	上尾中央総合病院	048-773-1111	t-sasaki@sart.jp
理 事(編集・情報)	八木沢英樹	埼玉社会保険病院	048-832-4951	h-yagisawa@sart.jp
理 事(公益)	星野 弘	埼玉社会保険病院	048-832-4951	h-hoshino@sart.jp
理事(総務)第一支部	双木 邦博	さいたま市立病院	048-873-4111	k-namiki@sart.jp
理事(総務)第二支部	大西 圭一	所沢ハートセンター	042-940-8611	k-onishi@sart.jp
理事(総務)第三支部	庭田 清隆	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	k-niwata@sart.jp
理事(総務)第四支部	山田 伸司	小川赤十字病院	0493-72-2333	s-yamada@sart.jp
理事(総務)第五支部	矢崎 一郎	春日部市立病院	048-735-1261	i-yazaki@sart.jp
理事(総務)第六支部	石川 直哉	指扇病院	048-623-1101	n-ishikawa@sart.jp

監事・顧問

役 職 名	氏 名	勤 務 先	勤務先電話	技師会メール
監 事	山本 英明	埼玉県立小児医療センター	048-758-1811	h-yamamoto@sart.jp
監 事	鈴木 正人	埼玉県県会議員		m-suzuki@sart.jp
顧 問	和田 幸人	埼玉医科大学病院	0492-76-1264	y-wada@sart.jp

役 職 名	氏 名	勤 務 先	勤務先電話	技師会メール
顧問税理士	増田 利治	増田利治税理士事務所	048-649-1386	

総務・財務委員会

役職名	氏 名	勤 務 先	勤務先電話	技師会メール
委 員 長	田中 宏	埼玉県立小児医療センター	048-758-1811	h-tanaka@sart.jp
副 委 員 長	結城 朋子	済生会川口総合病院	048-253-1551	t-yuuki@sart.jp
副 委 員 長	芦葉 弘志	丸山記念総合病院	048-757-3511	h-ashiba@sart.jp
委 員	堀江 好一	社会保険大宮総合病院	048-663-1671	k-horie@sart.jp
委 員	橋本 里見	埼玉社会保険病院	048-832-4951	s-hashimoto@sart.jp
委 員	双木 邦博	さいたま市立病院	048-873-4111	k-namiki@sart.jp
委 員	大西 圭一	所沢ハートセンター	042-940-8611	k-onishi@sart.jp
委 員	庭田 清隆	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	k-niwata@sart.jp
委 員	山田 伸司	小川赤十字病院	0493-72-2333	s-yamada@sart.jp
委 員	矢崎 一郎	春日部市立病院	048-735-1261	i-yazaki@sart.jp
委 員	石川 直哉	指扇病院	048-623-1101	n-ishikawa@sart.jp
委 員	田中 達也	小川赤十字病院	0493-72-2333	t-tanaka@sart.jp
委 員	岡田 義和	埼玉県健康づくり事業団	048-859-5173	y-okada@sart.jp
委 員	千田 俊秀	所沢市市民医療センター	04-2992-1170	t-chida@sart.jp
委 員	矢部 智	越谷市立病院	048-965-2221	s-yabe@sart.jp

学術委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	富田 博信	済生会川口総合病院	048-253-1551	h-tomita@sart.jp
副委員長	栗田 幸喜	済生会栗橋病院	0480-52-3611	k-kurita@sart.jp
副委員長	今出 克利	さいたま市民医療センター	048-626-0011	k-imade@sart.jp
副委員長	佐々木 健	上尾中央総合病院	048-773-1111	t-sasaki@sart.jp
委員	尾形 智幸	さいたま赤十字病院	048-852-1111	t-ogata@sart.jp
委員	大森 正司	さいたま赤十字病院	048-852-1111	s-omori@sart.jp
委員	横山 寛	埼玉県立小児医療センター	048-758-1812	h-yokoyama@sart.jp
委員	越沼 沙織	済生会習志野総合病院	047-473-1281	s-koshinuma@sart.jp
委員	平野 雅弥	埼玉医科大学病院	0492-76-1264	m-hirano@sart.jp
委員	岡田 智子	さいたま赤十字病院	048-852-1111	s-okada@sart.jp
委員	中根 淳	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	j-nakane@sart.jp
委員	城處 洋輔	済生会川口総合病院	048-253-1551	y-kidokoro@sart.jp

編集・情報委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	潮田 陽一	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3593	y-ushioda@sart.jp
副委員長	八木沢英樹	埼玉社会保険病院	048-832-4951	h-yagisawa@sart.jp
委員	肥沼 武司	国立障害者リハビリテーションセンター	04-2995-3100	t-koinuma@sart.jp
委員	栗田 幸喜	済生会栗橋病院	0480-52-3611	k-kurita@sart.jp
委員	白石 圭	伊奈病院	048-721-3692	k-shiraishi@sart.jp
委員	栗田 裕樹	佐々木病院	048-571-0242	y-kurita@sart.jp
委員	川田 俊彦	埼玉社会保険病院	048-832-4951	t-kawata@sart.jp
委員	坂田裕実子	埼玉社会保険病院	048-832-4951	y-sakata@sart.jp
委員	清水 邦昭	深谷赤十字病院	048-571-1511	k-shimizu@sart.jp
委員	菅野 方仁	大宮中央総合病院	048-663-2501	m-sugano@sart.jp
委員	宮崎 雄二	北里大学北里研究所メディカルセンター病院	048-593-1212	y-miyazaki@sart.jp
委員	荻野 孝	埼玉医科大学病院	049-276-1264	t-ogino@sart.jp

公益委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	中村 正之	獨協医科大学越谷病院	048-965-1111	m-nakamura@sart.jp
副委員長	星野 弘	埼玉社会保険病院	048-832-4951	h-hoshino@sart.jp
委員	芦葉 弘志	丸山記念総合病院	048-757-3511	h-ashiba@sart.jp
委員	工藤 安幸	東松山市立市民病院	0493-24-6111	y-kudoh@sart.jp
委員	志田 智樹	レインボークリニック	048-758-3891	t-sida@sart.jp
委員	志藤 正和	済生会川口総合病院	048-253-1551	m-shito@sart.jp
委員	澁市 直紀	埼玉医科大学国際医療センター	042-984-4192	n-shibuichi@sart.jp
委員	長谷部和仁	豊岡第一病院	04-2964-6311	k-hasebe@sart.jp

正 会 員 入 会 申 込 書

年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 会長殿

私は貴会の目的に賛同し、下記により入会したく会費を添えて申し込みます。

フリガナ		性 別 男・女	生	年	月	日
氏 名			西暦	年	月	日

<p style="text-align: center;">1. 2. それぞれに○をつけご回答ください</p> <p>1. 今回の入会は [<input type="checkbox"/>新入会 <input type="checkbox"/>再入会 <input type="checkbox"/>転入]</p> <p>2. <input type="checkbox"/>日本診療放射線技師会&埼玉県診療放射線技師会へ入会 <input type="checkbox"/>埼玉県診療放射線技師会のみ入会</p>	転入前の 所属技師会	
--	---------------	--

フリガナ	TEL — —
勤務先名	
フリガナ	〒
勤務先住所	
フリガナ	TEL — —
自宅住所	

会誌送付先	① 勤務先	所属支部（地区）
	② 自宅	

診療放射線 技師免許	国家試験	第	回	合格
	登録	第	号	年 月 日 登録

免許取得の 学歴	入学年月日	西暦	年	月
	卒業年月日	西暦	年	月
	学校			

関連分野の 最終学歴	学位	ある	なし
	学位記番号		
	授与年月		
	授与機関		

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
 〒331-0812
 さいたま市北区宮原町2-51-39
 TEL048-664-2728
 FAX048-664-2733

退 会 届

年 月 日

会員番号	
会員名	印
退会理由	
退会希望日	年 月 日
退会技師会名 <small>どちらかに ○をつけてください</small>	①日本診療放射線技師会と埼玉県診療放射線技師会を退会 ②埼玉県診療放射線技師会会員のみとなる
会費納入状況	年度分まで納入済み

決済処理

埼玉放技	
日放技	

会員異動届

ファックス送信票

下記の通り送信いたしますので、よろしくお願い致します。

受信者	FAX番号：048-664-2733 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
送信者	氏名 _____
	施設名 _____
	〒 _____ 施設住所 _____

*郵送の場合
〒331-0812 さいたま市北区宮原町2丁目51番地39
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
電話：048-664-2728

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会員登録変更届

平成 年 月 日

ふりがな 届出会員名		支部名	支部
技師会番号			

①転出者は正確にご記入下さい			
転出先	() 県へ転出	技師会費を () 年度まで納入	
変更項目	○印	②変更した項目をご記入下さい	
	ふりがな 自宅住所	〒 - - TEL - -	
	ふりがな 勤務先名		
	ふりがな 勤務先住所	〒 - - TEL - -	
	ふりがな 改姓		
	支部変更	第 () 支部を第 () 支部に	
連絡先変更			

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会発行の会誌「埼玉放射線」で、診療放射線技師の求人コーナーを掲載しております。次の掲載要項をご理解の上、申し込みくださるようお願い申し上げます。

発行部数：約1250部

発行エリア：埼玉県内

発行月：1・3・5・7・9・11月中旬

原稿締切日：発行月の1カ月前の1日

申込方法：2012年第5号別冊巻末用紙を用いFAX送信、または同項目を記載し電子メールにて申し込み。法令により年齢や性別に関する記述はできません。

掲載可否：後日担当者より連絡

掲載料：1回1万円

振込先：掲載決定後にご連絡

本会は、求人情報の掲載のみで、雇用内容に関するお問い合わせは受けておりません。また雇用契約に一切関わっておりません。

求人コーナー

募集対象者

雇用形態

業務内容

待遇

勤務時間

休日

募集人員

宿舍の有無

社会保険など

応募方法

その他